

2015年8月18日

本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目23番5号
 上場会社名 株式会社サニーサイドアップ
 代表者 代表取締役社長 次原悦子
 (コード番号: 2180)
 問合せ先 執行役員 グループ管理本部本部長 相田 俊充
 電話番号 03-6894-3233

通期連結業績予想値と実績値との差異、及び、特別損失の計上に関するお知らせ

平成27年4月3日公表の平成27年6月期通期連結業績予想値と本日公表の実績値との差異、及び、特別損失の計上につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成27年6月期 通期連結業績予想値と実績値との差異（平成26年7月1日～平成27年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	百万円 11,501	百万円 ▲106	百万円 14	百万円 ▲99	円 銭 ▲28.08
実績値 (B)	11,940	▲88	83	▲330	▲93.76
増減額 (B-A)	439	18	70	▲231	-
増減率	3.8%	-	514.8%	-	-
前期実績	12,443	51	153	▲7	▲2.18

（予想値と実績値の差異の理由）

■経常利益

当社グループの基幹事業であるマーケティング・コミュニケーション事業は、国内PR市場の成長を追い風に、サービスメニューの強化拡充を続けております。その成果として、計画より受注案件数を増加させることができ、且つ、大型案件の受注に成功した結果、計画を超える収益の獲得に至り、営業利益において業績予想値と実績値との差異が発生いたしました。

そして、営業外収益として、為替差益が101百万円発生し対計画で12百万円上振れたこと、及び、リスクヘッジを目的に外部の投資家から資金調達をするために組成していたbills韓国店舗の匿名組合に関して、bills韓国店舗における損失発生により、会計上、匿名組合損益分配額として38百万円を計上したことを主要因として、経常利益において業績予想値と実績値との差異が発生いたしました。

■当期純利益

既述の通り、経常利益においては上方修正となりましたが、bills ハワイ店舗における減損損失 313百万円の発生に伴い、当期純利益において業績予想値と実績値との差異が発生いたしました。

2. 特別損失について

■計上額

bills 海外事業における bills ハワイ店舗に係る固定資産の一部、及び、当連結会計年度末におけるのれん未償却残高を、減損損失として 313 百万円計上しました。

■減損損失発生の要因

当社は、中長期的な成長を実現すべく、基幹事業であるマーケティング・コミュニケーション事業で培った強みを生かしたグローバル展開、新規事業開発を進めております。その挑戦の一つとして、国内で安定的な収益を獲得している bills 店舗を海外で水平展開すべく、2014 年 3 月にハワイ店舗をオープンしました。

開業以来、継続的な PR 活動の成果として、今春にはアメリカ最大手のレストラン予約サイト「Open Table」主宰の「全米トップ 100 のランチレストラン」へのハワイ州唯一の選出が認知度向上に寄与するなどし、前年同月比で収益は成長しております。しかしながら、店舗開業前において発生したハワイの地域特性に起因する内装工事の大幅な遅れによる機会損失、及び、建築コストの増加によって投資回収計画の達成には至らず、これらの事業環境及び業績等を勘案して回収可能額を評価した結果、減損損失として 313 百万円を計上いたします。

今後、ハワイ店舗に関しては、引き続き現地ニーズを捉えた施策の充実及び PR 活動を積極化するとともに、外的環境としては近隣に 500 室以上を収容する大型宿泊施設が来春開業するなど周辺エリアの活性化による集客促進が期待でき、すでにキャッシュフローベースで黒字転換の見込がついております。bills 事業全体といたしましては、順調に収益を伸ばしている国内店舗は安定継続的に出店を続けてグループの収益基盤を確立し、海外展開においても、これまで得られたノウハウを基に事業再構築を通じて早期の収益回復、さらには、国内に比肩する利益を生み出す店舗づくりを目指します。

以上

(本件に関するお問合せ先)

株式会社サニーサイドアップ グループ管理本部 経営企画部 IR グループ TEL 03-6894-3233